

平成31年度事業計画

はじめに

1. 日中関係は昨年5月に総理としては8年ぶりに李克強総理が日本を訪問し、また、10月には安倍晋三首相が日本の総理大臣として7年ぶりに中国を公式訪問し、習近平国家主席、李克強総理との会談を行うなど、関係改善が大きく前進し、友好の機運が大きく醸成された一年でありました。本年はこの流れが一層進むことが期待されます。
2. 本年は、2020年の協会設立70周年に向けて準備に着手いたします。
3. 協会は設立70周年を組織強化の契機とし、あらためて会員の拡大や財政の確立をはじめとする組織の整備を図ります。
4. 日中両国国民の相互理解の促進と相互信頼の構築を図る事業を基礎におき、友好関係の発展のため一層の努力が必要です。

2019年度（平成31年度）の事業計画は以下の通りである。

1. 訪中団等の派遣

(1) 日中友好大学生訪中団の派遣

3団派遣（1団100名程度）。受入：中日友好協会。

(2) 宋慶齡国際青少年交流キャンプへの派遣

主催：中国宋慶齡基金会

英語を共通語として、世界30か国余りの高校生と交流。

(3) 各種代表団・訪中団の派遣

協会代表団をはじめ経済、女性及び青年等の訪中団の編成・派遣

協会訪中団（役員、県協会代表）

時期：未定

全国女性委員会訪中団

時期：5月中旬

2. 各種代表団・訪日団の受入

中国関係機関からの代表団や訪日団の受入

3. 在日華僑及び華人との文化・スポーツ交流

(1) 日中友好ボーリング大会

主催：（公社）日本中国友好協会、（一社）東京華僑総会（一社）東京華助中心

時期：8月予定

会場：渋谷ボーリング場

4. 中国語普及事業

(1) 第37回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会。

2020年1月12日東京で開催。

出場者エントリー11月上旬、テープ審査11月下旬。

都道府県日中友好協会（以下「県協会」という）は、10月下旬までに予選の大会を開く。

5. 中国政府奨学金生（以下「公費留学生」という。）の募集と派遣

(1) 2019年9月に留学する公費留学生の派遣。

4月中旬 中国政府に推薦

7月下旬 中国政府より決定通知

8月上旬 研修会の開催

9月上旬 留学

(2) 2020年9月に留学する公費留学生の募集・選考

1月 応募受付

2月中旬 書類選考

3月上旬 面接試験の実施

6. 会報「日本と中国」の発行事業

タブロイド版（カラー）12ページ。毎月1回（1日付）、年間の12回発行。

各地で実施されている友好事業の紹介と中国理解に役立つ情報の紹介を通じて日中の相互理解に貢献。

7. 出版事業

(1) 友好手帳2020年版の製作・発行

(2) 雑誌「人民中国」の販売

(3) 平山郁夫作品カレンダー2020年版の販売

8. 丹羽宇一郎奨学金

丹羽宇一郎会長の寄付を浄財に在日中国人留学生を支援する奨学金生の募集、選考を行い、奨学金を支給する。

10月 応募受付

11月 書類審査。

3月上旬 選考試験の実施

9. 友好都市間の交流の促進

友好都市の締結及び友好都市間の交流の支援。とりわけ青少年交流と文化交流を促進する。

10. 協会設立70周年に向けて記念事業の準備

(1) 70年史編纂

委員会を設けて、編集内容を検討・編集作業を進める。

来年(2020年)に発行を目指す。

(2) 各種催事

11. 中国知識検定の実施に向けての研究・準備。

12. その他事業

(1) 2020年日中友好新年会の開催

1月下旬東京にて開催

(2) 講演会や展示会等の開催

① 中華人民共和国建国70周年記念展

主催：(公社)日本中国友好協会

期間：未定 会場：未定

(3) 日中友好7団体等関係団体との提携・協力

(4) 満蒙開拓記念館「セミナー棟」増設への協力(告知等)

13. 県協会の活性化

(1) 協会の会員である県協会は42組織ある。未加入の組織には加入の働きかけを行い、組織がない県については県協会の再建に取り組む。47の都道府県すべてに組織が存在し、国民の期待に添えるよう努める。また、すべての県協会がホームページを持つことができるよう努める。

(2) 東西2ブロックに分けて協会実務者会議の開催

(3) チャイナフェスティバルへの出展

以上